

# 和地ひとみレポート No.319

## 3期目となる尾崎市長の所信表明

## ベテランならではの市政運営を期待する

### ■市長所信表明

…6月10日から開かれている市議会定例会は、4月の改選後、初めての定例会となります。この定例会の初日には、市長3期目となる尾崎市長の所信表明が行われました。この所信表明の全内容は、現在、市のホームページ（市長のページ内）に掲載されているほか、今後、市報にも掲載されると思います。

…今回の所信表明は「市政運営の3つの基本姿勢」と『日本一子育てしやすいまち・シニアが活躍できるまち』を目指した7つの施策」という2つの大きな括りの中で、今任期4年間についての尾崎市長の市政運営についての考えや方針などが表明されました。

### 【所信表明で示された市政運営の3つの基本姿勢】

#### 基本姿勢1 持続可能な行財政運営の実現

活力ある東大和市を維持していくためには、将来を見据え、効果的・効率的な市政運営を行っていく必要があると考えております。引き続き、限られた財源の中で、重要施策を選択しながら、持続可能な行財政運営の実現を目指してまいります。

#### 基本姿勢2 市民と行政が協働する市政の実現

今日の地域社会にあっては、行政の努力だけでまちづくりを進めることは困難であると思われれます。そのため、若者からシニア層まで幅広い世代の市民の皆様を力を活かした地域づくりの推進が図れるよう、市民と行政の協働によるまちづくりを目指してまいります。

#### 基本姿勢3 人や環境にやさしい市政の推進

東大和市は、狭山丘陵や多摩湖など、緑と水の豊かな自然環境が、市民の皆様の中にゆとりと潤いをもたらすとともに、鉄道やモノレールが接続し、都心等への通勤・通学圏内に位置したまちであります。この豊かな自然等に恵まれた生活環境は、子育て世代をはじめ、幅広い世代にとって住み心地のよさをもたらすものと考えております。これらの資源を活用し、まちの魅力を高めるとともに、日常生活が活気と思いやりに満ち、人と人の間であいさつが交わされ、ふれあいを感じ、市民の皆様が愛着を感じながら末永く住んでいただけるよう、また、市外の皆様にも移り住んでいただけるようなまちを目指してまいります。

…7つの施策については①子育てしやすいまちづくり、②住みよい、活気のあるまちづくり、③環境にやさしいまちづくり、④福祉の行き渡ったまちづくり、⑤地域力・教育力の向上、⑥財政の健全化、⑦市民とともに歩む市政運営が示されましたが、内容については特に目新しいものはありませんでした。そして、所信表明の最後には「2期8年間にわたり積み上げてきました実績を踏まえ、将来にわたって活力ある東大和市を維持していくために、長期的な視点に立ち、自らがリーダーとして、真摯に市政運営に取り組んでまいり覚悟であります。」との覚悟も示されました。

### ■代表質問

…市長所信表明を受け、市議会では2日後に各会派の代表質問が行われました。代表質問は市議会の各会派ごとにまとめた質問を市長に投げかけるもので、質問とその答弁に使用できる時間については、会派所属人数×10分という制限時間があり、(会派無所属の議員は10分)大会派(所属人数の多い会派)から通告の提出順に行われます。

…今回の代表質問で多くの会派が質問したことは、所信表明の中で各会派の政策に関連することが取り上げられた点については、その詳細な内容を確認する質問。また、具体的な事業名が示されたものについては今後の対策や取り組み方などを確認する質問が多かったと感じました。

…以前、今回、監査委員を拝命したことにより、私は監査委員を務めている間は一般質問を実施できないことをレポートに書きましたが、この代表質問は「一議員としての質問ではなく、会派を代表して行う質問のため」行うことは可能なので、私が所属している正和会については、私が会派を代表して代表質問を行いました。その質問内容と、市長答弁は以下の通りです。

### 【市長所信表明に対する正和会の代表質問】

#### 1：所信表明について

この度、尾崎市長は市長3期目を担うに当たり今期4年間についての所信を表明されたが、前期、2期目を担う際には所信表明をされなかった。

市長は、毎年度「その年度の施政運営の基本方針を示す」施政方針演説は行っていたが、今回、行われた所信表明は「選挙により選ばれた市のトップとして、市民の負託に答えるべく、どのような考えや思いを持って任期4年の市政運営に取り組むのか」といったまさしく市長個人の所信を述べる大切な場で、施政方針演説とは性格を異にするものであり、新たな任期を迎えるごとに行うべきものと考えます。そこで、前期、すなわち尾崎市長の2期目就任の際、所信表明を行わなかった理由と、今回、所信表明を行うに至った理由などについてご説明頂きたい。

#### ⇒市長答弁

市長就任2期目については、人口減少社会への対策として「日本一子育てしやすいまちづくり」を新たな重要施策に加えたが、1期目の所信表明で示した施策で継続して取り組むものがあつたことから、引き続き、取り組むべき施策の柱は変わらず、市政運営を行うこととし、改めて、所信表明は行わなかった。市長就任3期目については、社会情勢も変わり、行政課題も変化していることから、市民の皆様への信託(裏面に続く)



に伝えるため、今後4年間の市政運営に当たっての考えを伝えることが重要であると考え、所信表明を行ったものである。

## 2：市政のリーダーについて

今回の所信表明で尾崎市長は「自らがリーダーとして」市政運営に取り組んでいく覚悟を示されが、尾崎市長の考えるリーダーの役割、重要な資質、要素とは具体的に何か。

### ⇒市長答弁

厳しい財政状況の中、人口減少の抑制、持続可能な行財政運営、活力あるまちづくりなど、多くの行政課題がある中、その課題の解決に向け、住民福祉の向上のために政策を実行していくことが、市政を担うリーダーの役割であると考えている。重要な要素としては、決断力、職員に行動してもらうための組織管理能力、また、公正性・公平性、思いやりなども必要であると考えている。

## 3：組織力の向上について

今回の所信表明では3つの市政運営の基本姿勢が示されたが、それらの実現のためには市の幹部のみならず、職員全員に市長のお考えを浸透させ、理解してもらったうえで行動に移してもらい、そのことにより組織力を向上させる必要があると考えるが、組織力を高めるための取組みについてはどう考えているのか。

### ⇒市長答弁

所信表明で示した基本姿勢については、今後の任期4年間における市政運営の総括的な方針になることから、全職員がその内容を把握し、共通認識を持ったうえで、組織が一丸となって施策の実現に取り組んでいく必要があると考えている。そのためには、庁議等において、その内容を各部長・参事に伝えるとともに、各部・課の管理職を通して、担当職員にも伝達していく必要があると考えている。

## 4：協働について

今回の所信表明では「若者からシニア層まで幅広い世代の市民との協働の必要性」に何度か触れられていた。市民協働については、今まで多くの議員が議会で取り上げていたが、その際の答弁では、必要性は認識しているものの、今一つ「市民協働」の具体的なイメージが固まっていないことが示されていた。現時点では東大和市における市民協働の具体的なイメージはどのように固まっているのか。

### ⇒市長答弁

市民協働は、市が目指す将来の都市像の実現のため、市民や事業所、行政など立場の異なる主体が、それぞれの役割と責任を果たしながら、共に連携し、協力しながら主体的に活動することであると認識している。これまでも、狭山緑地の保全や、うまかんべえ～祭、地域活性化に向けた企業や大学との連携など、様々な事業において市民協働に取り組んできたところだ。

市民協働は、全ての業務に共通する取組み手法であることから、今後も事業の内容に応じて、活用してまいりたい。

## 5：市長と語ろう会について

尾崎市長は、就任1期目より、市民と直接意見交換の出来る場として市長と語ろう会を開催されており、開かれた市政の実現の一つの手法として、評価されているところだ。今回の所信表明では引き続き市長と語ろう会を開催する考えを示されたが、残念ながら、市長と語ろう会は回を重ねるごとに形骸化していることが否めない状況であることも御認識されているところだと思ふ。今後はより効果的な会となるようにどのような工夫を予定されているのか。

### ⇒市長答弁

市長と語ろう会は、市民の皆様の市政に対する考えを私が直接お聞きし、意見交換を行うものであり、市政に関する情報公開の推進や説明責任の徹底を図るうえで、大切な取組であると考えている。近年は、参加者数の減少が課題だったことから、より多くの方に参加していただけるよう、平成29年度からは、市が行う行事等との同時開催を実施している。今後も参加者が増えるような工夫をしてまいりたい。

## ■市のトップとして

…代表質問は、答弁について再質問をすることはできませんが、もし再質問が可能なら、もっと深掘りしたいと感じる答弁が多くありました。

…よく“ブレない”ことが重要だと言われますが、確かに市長としての所信の土台は“ブレ”てしまっただけは問題です。しかし、成長することによる変化は“ブレ”ることとは違うと思ふ。

1期目、すなわち市長という立場で市政を見たことがない時点での所信、2期目、4年間市政運営を実際に試みて分かったうえで所信の書き方、政策を実現させる方法などは変わってくるはず。さらに、今期は3期目。8年間の市長経験から出てくる思い、そして、経験により身につけた知恵や工夫を駆使しての市政運営に対する考え方や取組み姿勢をもっと“ご自身の言葉”で示してほしいというのが、正直な感想です。

…多くの市民が文字で所信表明を受け取ることになりませんが、市長が所信表明の原稿を読んでいる姿を目の前にすると、気付くことや感じるが多々あります。大げさに熱意を表現する必要はありませんが、「言霊」という言葉があるように、思いが込められた言葉は、静かに発しても相手に伝わるものがあるはず。変化の激しい現代において、市政の1年、1年は以前より重要性が増えています。市の事業は基本的には計画に沿って実施されるなか、尾崎市長ならではのことは何か。尾崎市長には初心を忘れず、市長2期の経験を活かして、市の発展のために全力で取り組んで頂くことを期待します。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102